

<第313回例会>

里山とせせらぎ歩き・カーリットの森へ



日時:2023年11月4日(土) 天候:晴れ時々曇り 16,000歩 約11km

集合:相鉄線 和田町駅10時

コース:和田町駅→和田稲荷→ふれあい広場→せせらぎの道→仏向町小川アメニティ→カーリットの森(たちばなの丘公園)
陣ヶ下溪谷公園→帷子川→西谷駅(解散)

参加者:リーダー:畠 計35名

1班:班長=望月 鈴木淳 小野里 山内 小島 桑原 岩元 富矢 内田 川合 佐田

2班:班長=鈴木宏 勅使河原 熊坂 奈良 斉藤 井内 市村 瀧川 吉岡 及川 戸崎 中西

3班:班長=入江 平嶋 高橋文 熊島 中村年 伊藤美 平林 鈴木孝 山口 廣兼 尾形(本日入会)

このところ猛暑の夏を引きずっているような11月とも思えない気温が続いている。朝晩はやや冷えるものの、この日も日中は夏日となり上着が邪魔になった。今回のコースは地元リーダーの散歩コース、安心・安全でただ後をつけて行くだけ。

まずはこの日の安全を祈って和田稲荷にご挨拶。住宅街の“異空間”ふれあい広場でストレッチ、秋の日差しを一杯に浴びたふれあいせせらぎの道を行き、名に相応しくない小川アメニティからカーリットの森でランチとなった。午後の部は陣ヶ下溪谷公園へと下る。ここは水量が多い時は渡りづらい箇所があるが、幸いなことにこの日は水量が少なく、足元も殆ど濡らさずに渡ることができて良かった。今回のコースには結構アップダウンがあり、気温も高かったこともあって皆さんお疲れ気味。ゴールの相鉄線西谷駅に着く頃には陽もやや傾いて気温も下がってきた。

<フォトレポート 小島>



<カーリットの森から上り坂の途中で全員集合。皆さんまるで檻の中に入っている動物のようで・・・>



駅を出て朝の和田町商店街を行く御一行。



元禄2年9月？ 小さな地蔵尊があった。



最初のポイントの和田稲荷神社に到着。ここはこの地の豪族和田義盛が夢枕に立った観音様のお告げによって
 建立した神社。神社は1185年に完成したが、1193年に頼朝がこの地を訪れた際に和田稲荷と名付けた。



元は寺だったふれあい広場でストレッチとコース説明&新入会員の紹介。



この階段の先には神社が。



皆さんの目線は遥か山の上にある白いマンション。エスカレーター付？





紅葉には早い木洩れ日のふれあいせせらぎの道を行く。



一般コースのはずだが結構アップダウンがある。



ここから仏向町小川アメニティに入る。



過去にも歩いたが名前にしては何とも風景。



カーリットの森（たちばなの丘公園）に到着。ここでランチタイムとなった。

『たちばなの丘公園』とは

この公園の開園（一次開園）は平成23年（2011年）と新しい。その名はこの地域が横浜市域に編入される以前の旧郡名（橘樹郡・たちばなぐん）に由来する。公園となる以前の大正8年（1919年）から平成7年（1995年）まで、この公園を含めた一帯は火薬製造会社の日本カーリット保土ヶ谷工場の敷地だった。日本カーリットを設立したのは、京浜臨海部の開発で知られる浅野財閥の総師、浅野総一郎。明治から大正の始めまでの間、火薬製造は軍需のみならず民需も国が独占していたが、第一次大戦以降は民需の火薬不足が顕著になる。そこで火薬製造が民間にも許可されることになった。浅野総一郎はスウェーデン・カーリット社からカーリット爆薬の製造・販売権を取得。日本で二番目になる民間火薬製造会社を設立して保土ヶ谷工場を建設して操業を開始した。

<爆発事故>

1955年（昭和30年）8月第6填薬室にて火薬の充填作業中に、火薬の中に異物が混入するなどしていたため発生した摩擦が原因で火薬が爆発。この爆発で同じ作業場にあった別の600キロの火薬が誘爆して爆発、さらに搬送中だった400キロの火薬にも引火し爆発した。この事故により3名が死亡、重軽傷者19名を出した。（Webサイトより引用）



公園内には火薬の製造工程の説明板が所々にある。

熱心に歴史を勉強中。目の前の土塁も当時を物語る。



公園を出た先に現れた万年塀。何のため？

当時は危険区域として立ち入り禁止の塀だった。



かつては区境道に設けられていた万年塀。現在ではその一部が保存されているのみ。



陣ヶ下溪谷に架かる環状2号線の陣ヶ下高架橋。景観に溶け込んだようなデザインで、2001年に竣工。まるでエリンギのような形。2003年には土木学会最優秀デザイン賞を受賞している。



ここから陣ヶ下溪谷へと下る急階段。



この日の水量は少なかったが足元が滑る。



急階段を下りると濡れた岩盤が待っていた。



対岸に渡ると再び急階段が待っている。



小休憩。溪谷踏破(?)の疲れを癒す。



まったりして出発の合図も耳に入らない。



西谷駅前でクールダウン・・・と言うよりダウン気味？



リーダーと会計担当に囲まれ“強制入会”の尾形さん。

<今日の一言>

私事ですが、この所あまり体調が芳しくなかったので参加を迷っていたが、朝起きた時には問題なかったので行くことにした。しかしそのせいか後半では足が攣ってしまい、手持ちの芍薬甘草湯を飲むことに。5分ほどで効きめが出て一時は治ったものの、ゴールの西谷駅近くになるとまた攣ってしまい、今度は右足が動かなくなってしまう。周りの人が心配してくれたが、足の屈伸をして痛みを我慢しつつ何とか駅に辿り着くことができた。

過去には大山で攣ったことがあり、芍薬甘草湯を貰って治したことがあったので、以来この薬は常にバッグに入れて歩くことにしている。それにしても今回の様な痛みは初めてで、筋肉の衰えを実感した次第。皆さんに迷惑をかけてしまった。

END